

## 地域医療支援病院業務報告書

2023年 9月 21日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県豊田市トヨタ町1番地  
トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長  
氏 名 佐藤 恒治

下記のとおり、2022年度の業務に関して報告します。

記

## 1 病院の名称等

|         |  |       |     |     |     |     |
|---------|--|-------|-----|-----|-----|-----|
| 名 称     | トヨタ記念病院  |       |     |     |     |     |
| 所 在 地   | 愛知県豊田市平和町1丁目1番地  |       |     |     |     |     |
| 診 療 科 名 | 内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、腎臓内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、小児科(新生児)、整形外科、形成外科、脳神経外科、外科、緩和ケア外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、内視鏡外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、肛門外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、生殖医療・産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、心臓外科、病理診断科、救急科 計 41 科 |       |     |     |     |     |
| 病 床 数   | 精 神  | 感 染 症 | 結 核 | 療 養 | 一 般 | 合 計 |
|         |  |       |     |     | 527 | 527 |

## 2 施設の構造設備

| 施 設 名         | 設 備 概 要   |                       |
|---------------|---|-----------------------|
| 集 中 治 療 室     | (主な設備) モニタリングシステム(生体情報)、PCPS(キャビオックス遠心ポンプコントローラ)、大動脈内バルーンポンプ、超音波診断装置、人工呼吸器 病床数10床 |                       |
| 化 学 検 査 室     | (主な設備) 生化学自動分析装置、血球分析装置、免疫測定装置等   |                       |
| 細 菌 検 査 室     | (主な設備) 顕微鏡、蛍光顕微鏡、セフティキャビネット、血液培養装置  |                       |
| 病 理 検 査 室     | (主な設備) 組織自動包埋装置、自動免疫染色システム、凍結切片装置   |                       |
| 病 理 解 剖 室     | (主な設備) 医用写真撮影装置、无影灯、解剖台、保管庫(遺体)   |                       |
| 研 究 室         | (主な設備) 電子カルテシステム、プロジェクター、シャーカステン  |                       |
| 講 義 室         | 室数 2  | 収容定員 378人             |
| 図 書 室         | 室数 1  | 蔵書数 8,000冊程度          |
| 救急用又は患者搬送用自動車 | (主な設備) 救急車(除細動装置、移動用モニター、酸素吸入装置) 保有台数 1台  |                       |
| 医薬品情報管理室      | [専用室の場合]  | 床面積 14 m <sup>2</sup> |

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

## 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

2 紹介率 72.8%

| 紹介患者の数<br>(A) | 初診患者の数<br>(B) | 紹介率<br>(A/B×100) |
|---------------|---------------|------------------|
| 15,602人       | 21,412人       | 72.8%            |

3 逆紹介率 98.1%

| 逆紹介患者の数<br>(C) | 初診患者の数<br>(B) | 逆紹介率<br>(C/B×100) |
|----------------|---------------|-------------------|
| 21,025人        | 21,412人       | 98.1%             |

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあっては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績  
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・ 共同利用を行った医療機関の延べ機関数 3,130件
- ・ 申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 3,130件
- ・ 共同利用に係る病床の病床利用率 15.5%

2 共同利用の範囲等

- ・ 共同利用対象施設：研修室（講堂・視聴覚室）、研究室、図書室
- ・ 開放型病床（東病棟3階2床、西病棟3階1床、東病棟4階5床、東病棟5階1床、西病棟5階3床、東病棟6階2床、西病棟6階3床、東病棟7階3床、西病棟7階2床、東病棟8階2床 計24床）
- ・ 共同利用医療機器：磁気共鳴画像診断装置（MRI）、全身用コンピューター断層撮影装置（CT）  
骨塩定量測定装置、ポジトロン断層撮影装置CT付（PET-CT）、ガンマカメラ装置（RI）、  
胃内視鏡検査装置（胃カメラ）、大腸内視鏡検査装置（大腸カメラ）、X線テレビ装置、  
超音波断層装置（心臓超音波検査、腹部超音波検査、頸動脈超音波検査）、脳波計（脳波）、  
心電計装置（ホルダー心電図、負荷心電図）

3 共同利用の体制

|               |         |    |
|---------------|---------|----|
| 共同利用に関する規程    | (有) ・ 無 |    |
| 利用医師等登録制度の担当者 | 氏 名     |    |
|               | 職 種     | 事務 |

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

| 医 療 機 関 名 | 開設者名 | 住 所          | 主たる診療科 | 申請者との経営上の関係 |
|-----------|------|--------------|--------|-------------|
|           |      | (別紙参照 資料2-3) |        |             |

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 24床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## 救急医療提供の実績

## 1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

| No. | 職 種 | 氏 名        | 勤 務 の 態 様   | 勤 務 時 間 | 備 考 |     |     |  |  |
|-----|-----|------------|---|---------|-----|-----|-----|--|--|
|     |     | (別紙3-1 参照) | <table border="1"> <tr> <td>常勤</td> <td>専従</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>非専従</td> </tr> </table> | 常勤      | 専従  | 非常勤 | 非専従 |  |  |
| 常勤  | 専従  |            |   |         |     |     |     |  |  |
| 非常勤 | 非専従 |            |   |         |     |     |     |  |  |

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

|             |               |     |
|-------------|---------------|-----|
| 優先的に使用できる病床 | 名称 ( GICU )   | 4床  |
|             | 名称 ( NICU )   | 6床  |
| 専用病床        | 名称 ( 救命救急病棟 ) | 20床 |

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

| 施 設 名  | 床 面 積    | 設 備 概 要                                  | 24時間使用の可否 |
|--------|----------|--|-----------|
| GICU   | 403.41㎡  | (主な設備) セントラルモニター、ICUベッド<br>(高性能)、超音波診断装置 | 可         |
| NICU   | 139㎡     | (主な設備) 人工呼吸器 (新生児専用)、網膜光                 | 可         |
| 救命救急病棟 | 1022.21㎡ | (主な設備) モニタリングシステム (生体情報)、大動              | 可         |
| ER外来   | 661.88㎡  | (主な設備) PCPS装置、超音波診断装置、血液ガス分              | 可         |
| 放射線科   | 1125.98㎡ | (主な設備) 磁気共鳴画像診断装置 (MRI)、全身用              | 可         |
| 臨床検査科  | 102.86㎡  | (主な設備) 生化学自動分析装置、血球分析装置、                 | 可         |
| 手術室    | 1436.78㎡ | (主な設備) ダビンチXi、メラ人工心肺装置 (H                | 可         |
| 内視鏡室   | 373.62㎡  | (主な設備) 内視鏡ビデオシステム、小腸ビデオス                 | 可         |

## 4 救急医療の提供の実績

|                               |         |          |
|-------------------------------|---------|----------|
| 救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数 | 8,539人  | (3,568人) |
| 上記以外の救急患者の延べ数                 | 17,158人 | (2,357人) |
| 合計                            | 25,697人 | (5,925人) |

※ ( ) 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

35 回

6 備考

昭和62年9月15日 救急病院認定

平成23年4月1日 救命救急センター指定

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

(別紙4-2,3 参照)

2 研修の実績

|                    |       |
|--------------------|-------|
| (1) 地域の医療従事者への実施回数 | 32回   |
| (2) (1) の合計研修者数    | 4172人 |

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無  有・無

(2) 研修委員会の有無  有・無

(3) 研修指導者

| 氏名 | 職種     | 診療科    | 役職等  | 臨床経験年数 | 備考    |
|----|--------|--------|------|--------|-------|
|    | 医師     | 消化器外科  | 主査   | 37年    | 研修責任者 |
|    | 看護師    |        | 総看護長 | 43年    |       |
|    | 医師     | 循環器内科  | 科部長  | 28年    |       |
|    | 歯科医師   | 歯科口腔外科 | 科部長  | 30年    |       |
|    | 薬剤師    |        | 薬剤長  | 29年    |       |
|    | 臨床検査技師 |        | 技師長  | 35年    |       |
|    | 放射線技師  |        | 主任   | 26年    |       |
|    | 管理栄養士  |        | 主任   | 28年    |       |
|    | 臨床工学士  |        | 主任   | 33年    |       |
|    | 理学療法士  |        |      | 13年    |       |
|    | 事務     |        | 主任   | —      |       |

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

| 施設名        | 床面積                   | 設備概要  |
|------------|-----------------------|---|
| 講堂（講義室1）   | 256.76 m <sup>2</sup> | （主な設備）マイク放送設備/イス/机/ホワイトボード/<br>プロジェクター/DVD再生機器/PC |
| 視聴覚室（講義室2） | 158.24 m <sup>2</sup> | （主な設備）マイク放送設備/イス/机/ホワイトボード/<br>プロジェクター/DVD再生機器/PC |

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

## 1 管理責任者等

|                 | 氏名 | 職種 | 役職等   |
|-----------------|----|----|-------|
| 管理責任者の氏名、職種、役職等 |    | 医師 | 副院長   |
| 管理担当者の氏名、職種、役職等 |    | 事務 | グループ長 |

## 2 諸記録の保管場所及び分類方法

|   | 保管場所  | 分類方法  |
|---|---|---|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 | (1) カルテ庫 (医事グループ)<br>(2) 電子カルテ (情報管理グループ)     | (1) ターミナルデジット方式 (ID番号の末尾3桁で管理)<br>(2) 患者ID        |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録  | 共同利用の実績                                       | 地域医療連携グループ<br>設備別、日付順                             |
|   | 救急医療の提供の実績                                    | 電子カルテ<br>日付順                                      |
|   | 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績                     | 地域医療研修委員会<br>開催日順                                 |
|   | 閲覧の実績   | 医事グループ<br>電子カルテ<br>日付順                            |
|   | 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿 | 地域医療連携グループ<br>紹介患者：予約日順<br>他施設に対する紹介患者：診療情報提供書発行順 |

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。



診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法  
及び閲覧の実績

|         |  |          |                              |     |    |
|---------|--|----------|------------------------------|-----|----|
| 閲覧責任者   | 氏名   | 職種       | 役職等                          |     |    |
|         |  | 医師       | 副院長                          |     |    |
| 閲覧担当者   | 氏名   | 職種       | 役職等                          |     |    |
|         |  | 事務<br>事務 | 医事グループ長<br>情報管理グループ<br>グループ長 |     |    |
| 閲覧場所    | 中央カルテ室<br>地域医療連携グループ、図書室<br>(医事グループで許可を得てから閲覧)   |          |                              |     |    |
| 総閲覧件数   | 医師   | 歯科医師     | 地方公共<br>団体                   | その他 | 合計 |
|         | 15   | 0        | 0                            | 53  | 68 |
| 閲覧手続の概要 | <p>(1) 紙カルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医事グループに申請、出庫依頼。貸出期間は2週間</li> <li>・ 医事グループはシステムにてアリバイ管理</li> </ul> <p>(2) 電子カルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者登録 (ID付与) を情報管理Gにて実施<br/>(個別に閲覧制限を実施)</li> <li>・ 不適切閲覧 (担当外の患者情報閲覧) のチェック<br/>実施 (2回/年)</li> </ul> |          |                              |     |    |

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

- 1 委員会の開催回数 4回
- 2 委員会における議事の概要

第23回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】 2022年6月21日 14:00～15:00 ハイブリット開催（視聴覚室＋オンライン）

- 【議事】
- ・ 前回議事録の確認
  - ・ 実績報告
  - ・ 新科部長の紹介
  - ・ 新型コロナウイルスワクチン 個別接種(4回目)
  - ・ 外部委員からの意見・要望

第24回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】 2022年9月20日 14:00～15:00 ハイブリット開催（視聴覚室＋オンライン）

- 【議事】
- ・ 前回議事録の確認
  - ・ 実績報告
  - ・ 地域の医療従事者等への研修
  - ・ 新病院外観の様子
  - ・ 外部委員からの意見・要望

第25回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】 2022年12月20日 14:00～15:00 ハイブリット開催（視聴覚室＋オンライン）

- 【議事】
- ・ 前回議事録の確認
  - ・ 実績報告
  - ・ 2021年度 がん地域連携パス運用報告
  - ・ トヨタ記念病院本館について
  - ・ 外部委員からの意見・要望

第26回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】 2023年3月30日 14:00～15:00 ハイブリット開催（視聴覚室＋オンライン）

- 【議事】
- ・ 前回議事録の確認
  - ・ 実績報告
  - ・ 新棟(本館)の紹介・連絡
  - ・ 外部委員からの意見・要望

患者相談の実績

|            |  |       |       |
|------------|--|-------|-------|
| 患者相談を行った場所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療社会福祉グループ事務所の面談室</li> <li>・ 病棟の面談室</li> <li>・ 外来の面談室</li> </ul>  |       |       |
| 患者相談担当者    | 氏 名  | 職 種   | 役 職 等 |
|            |  | 社会福祉士 | グループ長 |
|            |  | 社会福祉士 | 主任    |
|            |  | 社会福祉士 | 主任    |
|            |  | 社会福祉士 | 主任    |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 社会福祉士 |       |
|            |  | 看護師   |       |
| 患者相談件数     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉士相談延べ件数:22,345件</li> <li>-入院中の療養生活・退院・転院に関する相談件数(延数):18,431件</li> <li>-外来福祉相談件数(延数):3,914件</li> <li>・ 患者相談窓口</li> <li>-相談・苦情(職員対応・待ち時間等):1,195件</li> <li>-上記以外:5,819</li> </ul> |       |       |

## 患者相談の概要

### 【患者支援センター 医療社会福祉G】

#### 1. 社会福祉士相談

(下記、の日本医療社会福祉協会の業務指針並びにソーシャルハイリスク項目をもとに  
当院独自の取り組みを加えて相談を行っている：重複)

◎22,345件の内訳

- ・入院中の療養生活・退院・転院に関する相談件数(延数)：18,431件
- ・外来福祉相談件数(延数)：3,914件

(※ 内、含まれるソーシャルハイリスク相談件数(延数)：18,324件)

<内訳>

- ・施設から入院：3,714件
- ・老老世帯：2,030件
- ・単身世帯：863件
- ・高齢者単身世帯：1,978件
- ・経済困窮：910件
- ・身寄りなし：416件
- ・高齢者と子：1,519件
- ・虐待暴力：1,971件
- ・認知症：2,019件
- ・精神疾患：431件
- ・医療費支払困難：594件
- ・家族協力得られない：630件
- ・無保険：69件
- ・医療依存度高：812件
- ・外国籍：368件

#### 2. がん相談支援センター相談件数(延数)：2,751件

<相談詳細：大項目該当件数(相談内容重複あり)>

- ・治療・療養生活等：2,891件
- ・セカンドオピニオン：31件
- ・入院、退院、医療機関紹介：1,000件
- ・医療費、生活費、社会保障制度：1,035件
- ・不安、精神的苦痛、告知、コミュニケーション：1,598件
- ・その他：368件

#### 3. 虐待暴力関連相談件数(延数)：1,971件

- ・児童虐待(予防含む)：1,517件
- ・DV(予防含む)：323件
- ・高齢者虐待(予防含む)：99件
- ・障がい者虐待件(予防含む)：32件

#### 4. 医療社会福祉グループの質評価指標

- ・入院患者への介入率：21.4%

### 【患者相談窓口】

- ・相談・苦情(職員対応・待ち時間等)：1,195件
- ・上記以外：5,819件

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

<診療所への訪問活動による連携の緊密化のための支援>

訪問診療所：12診療所／年

訪問診療導入件数：225件／年

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

院内に医療社会福祉相談室を設け、相談内容に応じて医師や看護師等、院内の多職種との連携・協働し、患者家族の相談に対応している。(新規相談：4294件/年)

【地域の医療提供施設に対する情報提供】

退院後に継続的な医療・介護の提供が必要な患者家族に対して、入院病棟等で入院中の情報共有、退院前カンファレンス（一部オンライン）の開催など行っており、かかりつけ医、訪問看護ステーション、介護支援専門員、施設職員等の出席のもと、自院の主治医、看護師、薬剤師、リハビリ技師、栄養士、MSW等と情報共有・情報提供を行い、医療の継続性を心がけている。(年間約254件)

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

【医師・看護師・Coメディカル等の交流会による医療提供の推進】

脳卒中、大腿骨頸部骨折、がん等地域のパス会議開催など地域連携ネットワークに積極的に取り組んでいる。

【在宅訪問による多職種カンファレンスの開催】

病院看護師やMSWによる退院前後訪問看護を実施し、居宅で訪問看護師や介護支援専門員、福祉用具業者と生活を見据えたカンファレンスを実施、家族への指導を行うことで退院後の在宅支援に向けた連携にも力を入れている。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

|               |          |       |                  |
|---------------|----------|-------|------------------|
| 専 用 の 室 の 名 称 | 患者支援センター |       |                  |
| 担 当 者         | 氏 名      | 職 種   | 役 職 等            |
|               |          | 医師    | センター長            |
|               |          | 薬剤師   | 地域医療連携G<br>グループ長 |
|               |          | 社会福祉士 | 医療社会福祉G<br>グループ長 |
|               |          | 看護師   | 入退院支援G<br>グループ長  |

2 病院の機能に関する第三者による評価

|                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 評 価 を 行 っ た 機 関 名 | 公益財団法人 日本医療機構評価機構      |
| 評 価 を 受 け た 時 期   | 2021年年7月16日～2026年7月15日 |

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

|   |
|---|
| <p>退院調整部門の実績</p> <p>地域医療連携室のMSWや看護師が入院後3日以内に患者の状況を把握するとともに退院困難な要因を有している患者を抽出。入院後、7日以内に多職種カンファレンス実施、退院計画書作成。</p> <p>・人員構成：看護師・・・2名、MSW・・・11名</p> |
|---|

4 地域連携を促進するための取組みの実績

|  |
|--|
| <p>策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>脳卒中地域連携パス（入院～回復期～在宅）、大腿骨頸部骨折連携パス（入院～回復期～在宅）、がん地域連携パス（入院～在宅）（胃がん、大腸がん、肺がん、肝がん、乳がん、前立腺がん）</p> |
|--|

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・脳卒中地域連携パス部会（3回/年）WEB会議
  - ・すぴりっとの会（脳卒中地域連携パス部会）（3回/年）WEB会議
  - ・大腿骨近位部骨折地域連携会議（3回/年）WEB会議
- <愛知県がん診療連携協議会 地域連携クリニカルパス部会>
- ・がんパスコーディネーター三河地区部会（1回/年）メール会議
  - ・がんパスコーディネーター全体会（1回/年）メール連絡
  - ・クリニカルパス部会・WG代表者会議（1回/年）WEB会議
  - ・前立腺がんパスWG（2回/年）メール会議/WEB会議
  - ・肺がんWG（1回/年）WEB会議
  - ・乳がんWG（1回/年）WEB会議

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

ホームページ、広報誌（NEWS LETTER、Smile&Heart）、Mail発信、院内掲示、LINKED（中日新聞）

内容等の概要

- ・ホームページ：病院概要、各診療科、診療担当医師紹介、各部門紹介、受診方法 他
- ・NEWS LETTER：地域の医療機関向けに診療機能、専門治療、地域連携の取り組み 他
- ・Smile&Heart：病気のお話、病院トピックス、登録医の紹介（主な診療科、場所、特徴）他
- ・Mail発信：連携医療機関へ各種講演会、セミナーなど案内 他
- ・院内掲示：来院される方へポスター等によるインフォ（診療報酬改定、病院機能）他

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。